

< 第 12 節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	7	2	3	27	9	+18	24
2	筑波大学	7	3	2	29	13	+16	23
3	法政大学	6	1	5	22	13	+9	23
4	国士館大学	5	4	3	15	17	-2	18
5	東京農工大学	4	4	4	12	20	-8	16
6	流通経済大学	4	4	4	11	19	-8	16
7	順天堂大学	4	5	3	17	18	-1	15
8	東京学芸大学	5	7	0	16	18	-2	15
9	中央大学	4	6	2	19	21	-2	14
10	明治大学	4	6	2	15	17	-2	14
11	亜細亜大学	3	6	3	11	17	-6	12
12	日本大学	2	7	3	12	24	-12	9

得点ランキング

- 9ゴール 平山相太(筑波大)
- 市川雅彦(法大)
- 7ゴール 宮崎大志郎(駒大)
- 6ゴール 赤嶺真吾(駒大)
- 5ゴール 原一樹(駒大)
- 井上平法(法大)
- 他1名

アシストランキング

- 10アシスト 藤本淳吾(筑波大)
- 5アシスト 高野耕平(東学大)
- 石川高大(東農大)
- 3アシスト 赤嶺真吾(駒大)
- 小宮山尊信(順大)
- 中村英之(順大)
- 他4名



【上】引き分けという結果に不満げな表情で引き上げる選手たち。ここで失った勝ち点「2」は今後、どのような形で響いてくるのか

【右】終了間際の同点ゴールでチームを救った筑城。守備でも安定したパフォーマンスをみせ、攻守で活躍した

【下】ゴールを決めるべく、懸命に足を伸ばす赤嶺。4本ものシュートを放ちながらも結果には結びつかなかった



【右】スライディングでボールを奪う廣井。阿部とともに幾度と無く、ゴール前で身体を張った守備をみせた



9月3日 14:10 西が丘サッカー場	
駒大 1(0-0) 1日大 (1位・23) (12位・8)	
得点者(アシスト)	
【日】73分:横山祐次 3	
【駒】89分:筑城和人 1(島田裕輝 1)	
KOMAZAWA	CHUO
GK 牧野利昭(4)	GK 21折見健治(3)
DF 筑城和人(3)	DF 30滝川敬祐(1)
DF 廣井智信(3)	DF 中泉賢二(3)
DF 阿部琢久也(3)	DF 塩田悠一(4)
DF 塚本泰史(2)	DF 玉木孝佳(4)
MF 菊地光将(2)	(88分 34山岸恵祐(2))
MF 宮崎大志郎(4)	MF 荒牧太郎(3)
(78分 33島田祐輝(1))	(51分 黒木 潤(3))
MF 28笹岡新伍(4)	MF 山内大輔(3)
(78分 原一樹(3))	MF 飯田 諒(4)
MF 赤尾直和(4)	MF 福田将吾(4)
(66分 鈴木亮平(4))	(45分 横山祐次(4)(3))
FW 赤嶺真吾(4)	FW 35前北敏彦(1)
FW 巻 佑樹(3)	FW 22照沼宗大(3)
S U B	S U B
GK 21三栗寛士(3)	GK 31金沢智明(3)
DF 石井晃一(4)	MF 36轟 透(1)
MF 八角剛史(2)	MF 大場祐介(3)
MF 32榎原浩一朗(2)	FW 27稲垣臣宣(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 馬淵剛行
警告(C) / 退場(S)	
【駒】41分:巻 佑樹(C)、59分:笹岡新伍(C)	
66分:赤嶺真吾	
[シュート]14:8[GK]9:9[CK]8:2[PK]0:0[直接FK]15:19	
[間接FK]3:1[CS]1:1[主審]前島和彦[観衆]約500人	

上記データは全て左側の数字が駒澤

PICK UP!!



ボールを奪うべく激しく競り合う笹岡。彼の意識する粘りのプレーは、駒大には必要不可欠だ

この試合で公式戦デビューを果たした島田の活躍は右のページで記述だが、もう少し詳しくその活躍を振り返りたい。公式戦初出場であシストを記録した島田の持ち味は「スピード溢れる突破」である。その実力は関東大学リーグでも十分に通用することが証明された。「出たら得点に絡めるプレーをしたい」と意識も高い。その突破力を武器に今後も出場試合数を伸ばしていくことは間違いない。

島田に加え右サイドで先発出場した笹岡は、駒大サッカーの原点を思い起こさせた。公式戦では昨年のインカレ以来だが、「夏の練習試合を通していい状態を維持している(笹岡)。78分にピッチを退いたが、試合開始から粘り強いプレーをみせ、「最上級生としてそういうところを後輩に見せていかないといけない(笹岡)」と今、駒大に必要なものを感じさせるプレーを魅せた。

ルーキーの島田、最上級生の笹岡。リーグ再開から頼もしいプレーヤーがピッチに姿を現した。今後、二人がみせるプレーには大きな期待がかかる。